

第29回 全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会 「アフターGIGA 時代の哲学と探究 ―なぜ、なぜ、なぜ！の追究―」



主催：全国私立大学附属・併設中学校・高等学校
教育研究集会実施連盟

後援：日本私立大学連盟 日本私立大学協会

日時：2024年8月30日（金）

13時00分～19時30分

8月31日（土）

09時30分～12時15分

会場：東洋大学附属牛久中学校・高等学校

<https://www.toyo.ac.jp/ushiku/>



東洋大学附属牛久中学校・高等学校



第29回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会

会場校より

第29回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会（通称 附属校サミット）を、創立60周年を迎えた本校にて開催できますことを光栄に存じます。本校の創立60周年を記念するイベントとして「附属校サミット」を位置づけ、数年にわたって準備を進めて参りました。

本教育研究集会の研究主題は「アフターGIGA時代の哲学と探究 ―なぜ、なぜ、なぜ!の追究―」としております。アフターGIGA時代を生き抜く生徒たちに必須となる教育とは何か、その根幹に本校の建学の精神に基づいた「哲学」を据え、本校としてこれまで積み上げてきたグローバル教育、学校改革の成果等を広く発信させていただくとともに、参加された各学校の教育活動に少しでもお役に立つこと、また参加学校間の情報交換、情報共有に資することを期待しております。

さて、今回の大会の概要について申し上げますと

1日目は、総会、研究授業、ポスターセッション、教科ごとの研究協議、全体会にて基調講演です。

2日目は、全体会にて生徒の成果発表の後、分科会協議を行います。

基調講演には、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長・教授の柳沢 正史先生にお願いしました。柳沢先生は昨年のノーベル賞医学生理学賞の有力候補の一人でありました。研究機構の名の通り「睡眠」がご専門で、脳内で働いて目が覚めている状態を保つたんぱく質「オレキシン」を見つけ、睡眠のメカニズムの一端を解明したとされています。本校の研究主題の「なぜ、なぜ、なぜ!の追究」は「考えること」を前提としています。私たちが「考えること」をよりよく行っていくためには、「睡眠」が極めて重要です。「睡眠」という現象は未だ謎に満ちていて、なぜ我々は眠らなければならないのか、「睡眠」の実体とは何なのか。人間の本質に関わり続ける問題であり、人間そのものの活動を左右するという意味で重要な問題です。基調講演は、「睡眠の謎に挑む～原理の追求から社会実装まで～」と題し、人間の諸活動の本質に関わる問題としての「睡眠」を焦点化し、教育関係者として日々の教育活動に生かすべく学んでいきたいと考えています。

本校の「附属校サミット」に向けた取り組みでは、完成年度を迎えた新学習指導要領の趣旨を踏まえて、数年にわたって授業改善を進めて参りました。その記録は毎年研究紀要として発行してきました。本校での研究授業をご覧いただき、この授業がこの指導要領の趣旨に則った、「主体的・対話的で深い学び」を行えたかを協議で深めていただくとともに、2日目には分科会協議として、以下の5つのテーマから今後の教育の在り様などについて、各分野での第一人者である助言者の先生方からご指導をいただきます。

- A アフターGIGA時代の教育環境づくりー教育支援システムを活かした新たな教育ー
- B 積極的な海外交流に基づく国際力の養成
- C 探究学習による幅広い深い学力の養成ー全教員で探究に取り組むためにー
- D 中高大連携教育の充実と発展
- E 建学の精神に基づいた哲学教育の可能性

本教育研究集会で得られた取り組みの中から、これからの私立大学附属校の教育活動に資することが1つでもあればこれにまさることはありません。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

東洋大学附属牛久中学校・高等学校 学校長 金澤利明

「アフターGIGA時代の哲学と探究 —なぜ、なぜ、なぜ！の追究—」（サミット24戦略）

東洋牛久卒業生のグローバル人材の活躍

プレサミット（2023年）からサミット24（2024年）へ

創立60周年

育成したい
グローバル人材像

- ①日本人としてのアイデンティティと自分の考え（哲学）をもって主体的に行動できる。
- ②知的的好奇心と高い志をもって自らの人生に積極的にチャレンジできる。
- ③多様な生活文化を理解・尊重し、受容して世界の人々と共生できる。
- ④地球的規模の課題に興味関心をもち、問題を発見し解決しようとする意欲と能力がある。
- ⑤世界の人々と情報を共有して自らの考えを積極的に発信し、周囲の人々をリードできる。（「学校要覧」より精選）

A アフターGIGA時代の教育環境づくり

- ①アフターGIGA時代の授業づくり
 - 全教員で実践する授業改革＝研究授業、紀要作成
- ②教育支援システム等を活かした新たな教育
 - 教育情報の可視化による生徒理解の深化と次世代教育への発展
- ★ICTとの親和を保ち、生徒の主体的学びを引き出す教育、教育環境の創造と構築

グローバル

C 探究学習による幅広い深い学力の養成

- ・課題意識に根差したグローバル教育の創造
- 課題発見から分析、解決へ導く高次の学習能力の育成
 - ／SDGs(持続可能な17の目標)を見据えた生徒の活動
- ★本校の独自の教育実践として行ってきたグローバル探究の視点から探究学習の可能性を追究

E 建学の精神に基づいた哲学教育の可能性

- ・自ら考え、根拠に基づいた行動をすることのできる意欲溢れる生徒の育成
- 「なぜ、なぜ、なぜ！の追究」＝多角的な見方、捉え方のできる思考力の涵養
- 附属三校で連携しながら、主体的に活動できる人間力の育成／SIの一層の明確化
- ★未来に向けての哲学教育の可能性を研究、開発

B 積極的な海外交流に基づく国際力の養成

- ・国内外における派遣、招聘事業の実施による実践活動
 - 異文化交流を通し、国際感覚を身に着け、世界的課題に取り組む気質を養う。
- ・外国語スピーチ、ディベートコンテストへの参加と実践
 - 語学・対話力を引き上げ、主張を伝える力を鍛える。
- ★積極的に自己発信し、世界に挑戦していく人材の育成

人材の育成

D 中高大連携教育の充実と発展

- ・中高大連携教育の実際と可能性
 - 初等中等教育と高等教育の連携・往還により、多角的でより深い学びの場を構築する。／最新の学問研究の成果を学びながら、附属校ならではの未来へ向けての教育内容の充実を図る。
- ★総合学園法人下の附属校ならではの魅力の創造

基本理念 東洋大学の創立者井上円了先生の建学の精神

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

日 程 :

2024年08月30日(金)

開始	終了	内容	場所	オンライン 配信
11:30		受付	昇降口	
11:50	12:50	研究集会実施連盟 総会 (会員校代表者様はご出席ください) ※総会の議案・出欠等につきましては別途ご案内を お送りいたします	マルチ パーパス ホール	
13:00	13:50	研究授業〔授業内容は研究授業一覧を参照〕 ポスターセッション〔生徒による探究学習成果発表〕 ※研究授業とポスターセッションは同一時間帯に行います	各教室	配信あり ※授業のみ
14:00	14:50	研究授業に関する研究協議〔研究協議一覧を参照〕	各教室	配信あり
15:10	15:30	開会行事(全体会) 開会の挨拶 実施連盟会長 長屋 頼子 東洋大学附属牛久中学校・高等学校 校長 金澤 利明 氏 研究テーマ説明	講堂	配信あり
15:45	17:15	基調講演 「睡眠の謎に挑む～原理の追求から社会実装まで～」 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長・教授 柳沢 正史 氏	講堂	配信あり
17:30	17:45	専用バスにて移動		
18:00	19:30	懇親会 会場：モダンリゾートウェディング [ベル・ザ・クラス] 〒300-1206 茨城県牛久市ひたち野西 1-22 アクセス：JR 常磐線ひたち野うしく 駅下車 徒歩約10分	ベル・ザ・ クラス	

08月30日(金) ご昼食について(一般参加の先生方) :

メニュー数は少なめになりますが、学食は営業をいたします。(営業時間 11:30~12:45)
お持ちいただいたご昼食を飲食の際は、学食または休憩場所をご利用ください。
飲み物の自動販売機は、学食、校舎内にございます。

2024年08月31日（土）

開始	終了	内容	場所	オンライン 配信
9:00		受付	昇降口	
9:30	10:15	生徒発表 ・グローバル人材育成の取組み ・ICT Lab の取組み ・SDGs の取組み ・英語落語	講堂	配信あり
10:25	11:45	分科会 A アフターGIGA時代の教育環境づくり —教育支援システムを活かした新たな教育— B 積極的な海外交流に基づく国際力の養成 C 探究学習による幅広い深い学力の養成 —全教員で探究に取り組むために— D 中高大連携教育の充実と発展 E 建学の精神に基づいた哲学教育の可能性 *全体 80 分のうち、本校発表約 8～10 分、フロアの 皆様との討議約 10 分、助言指導講演 60 分で構成しま す。	各教室	配信あり
11:55	12:15	閉会行事（全体会） 閉会の挨拶 実施連盟会長 長屋 頼子 東洋大学附属牛久中学校・高等学校 校長 金澤 利明 氏 次年度会場校 立命館中学校・高等学校 校長 東谷 保裕 氏	講堂	配信あり

08月31日（土）は、学食の営業はございません。

開催1日目

研究授業一覧 8月30日（金）13:00～13:50

	教科	科目	授業者	学年・コース	対象	実施場所	
1	国語	国語	若林亮太	中学	J3年A組	2S	北館3階
2	数学	数学	金本卓樹	中学	J3年B組	2T	北館3階
3	国語	古典探究	朝田香世	高校・進学	2年D組	1I	南館3階
4	地歴	日本史探究	本保泰良	高校・一貫	3年S組	2H	南館3階
5	地歴	世界史探究	森江武文	高校・進学	3年A組	1H	南館3階
6	総合的な探究の時間	哲学	大窪望佐子	高校・進学	1年D組	2G	南館3階
7	数学	数学Ⅱ	藤田 宏	高校・進学	2年A組	2D	南館3階
8	理科	生物基礎	片岡佑輔	高校・一貫	1年S組	1S	北館3階
9	理科	物理基礎	島田 篤	高校・特進	1年M組	物理室	3号館2階
10	外国語	英語コミュニケーションⅡ	青木敏史	高校・進学	2年C組	2C	南館3階
11	外国語	英語コミュニケーションⅡ	大谷 淳	高校・特進	2年L組	2B	南館3階

ポスターセッション 8月30日（金）13:00～13:50

	題名	発表者（高校）	実施場所	
1	迎角の変化による揚力の変化と揚力発生についての調査	1S 玉本大悟	2E	南館3階
2	生物の骨格標本の頭蓋や歯の違いから見る進化	1T 小野寺悠斗		
3	ラグビーにおける効率的な戦術を探す！	2K 佐藤洸栄		
4	英語学習に前向きになれる肯定的フィードバックのあり方	2K 古賀千尋	2F	南館3階
5	ウイスキー廃液を用いた 有用微細藻類オーランチオキトリウムの培養	3J 今村晴海		
		3J 宇賀神菜々子		
		3I 山田響希		
6	河川用浄水器の開発—水質汚染対策を視野に入れて—	3S 磯貝優希		

研究協議一覧 8月30日（金）14:00～14:50

	教科	科目	実施場所	
I	国語	中学：国語、高校：古典探究	1G	南館3階
II	地歴①	日本史探究	地歴公民 科教室	南館3階
III	地歴②	世界史探究	3階小演習 室②	南館3階
IV	数学	中学：数学、高校：数学Ⅱ	3T	北館3階
V	理科	生物基礎、物理基礎	1T	北館3階
VI	外国語	英語コミュニケーションⅡ	20	南館3階

* 「総合的な探究の時間」の「哲学」は、分科会E「建学の精神に基づいた哲学教育の可能性」に包摂します。

開催2日目

生徒発表 8月31日（土）09:30～10:15

	テーマ	発表題目	発表者	実施場所	
1	グローバル人材育成の取組み	グローバル人材としての私の挑戦	3K 中根菜緒	講堂	3号館
2	SDGsの取組み	高校生徒会の挑戦 養蜂プロジェクトから得た学びと共生	3S 田山ひかり 3S 田中愛美		
3	ICT Labの取組み	仮想現実を創る	3H 橋本光太郎 3J 松崎 舜		
4	英語落語	Introduction	J3A 木村 想		
			J3A 山下莉夏		
		「無人島の三人」 「時そば」	J3B 野村波琉		
			J3B 原羽衣子		

分科会一覧 8月31日（土）10:25～11:45

	分科会テーマ	実施場所	
A	アフターGIGA時代の教育環境づくり—教育支援システムを活かした新たな教育— 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 教授 室田 真男 氏	1A	北館2階
B	積極的な海外交流に基づく国際力の養成 郁文館グローバル高等学校 教頭 鎌倉 好男 氏	1B	北館2階
C	探究学習による幅広い深い学力の養成 —全教員で探究に取り組むために— 一般社団法人Glocal Academy理事長 鹿児島市教育委員 東京大学 先端科学技術研究センター客員上級研究員 岡本 尚也 氏	1C	北館2階
D	中高大連携教育の充実と発展 立命館守山中学校・高等学校 教頭 坂 一平 氏	1D	北館2階
E	建学の精神に基づいた哲学教育の可能性 帝京大学教育学部教育文化学科 教授 増淵 達夫 氏	1E	北館2階
全体80分のうち、本校発表約8～10分、フロアの皆様との討議約10分、助言指導講演60分で構成します。			

睡眠の謎に挑む

～原理の追求から社会実装まで～

〈講師〉

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長

柳沢 正史 (Masashi Yanagisawa) 氏



開催日時：2024年8月30日（金）15:45-17:15

会場：東洋大学附属牛久中学校・高等学校

〈経歴〉

研究室を主宰した。2010年に内閣府 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)に採択され、筑波大学に研究室を開設。2012年より文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム 国際統合睡眠医科学研究機構筑波大学医学専門学群・大学院医学研究科博士課程修了。1991年に31歳で渡米、テキサス大学サウスウェスタン医学センターとハワードヒューズ医学研究所にて、2014年まで24年にわたって(WPI-IIIIS)機構長・教授。2017年、筑波大発のスタートアップベンチャー企業「S'UIMIN」を起業。2021年よりムーンショット型研究開発事業のプロジェクトマネージャーを務める。

〈主な受賞歴〉

- 2003年 米国科学アカデミー正会員に選出
- 2016年 紫綬褒章
- 2017年 エルウィン・フォン・ベルツ賞1等 (ベーリンガー・インゲルハイム社)
- 2018年 朝日賞 (朝日新聞文化財団)
- 2018年 慶應医学賞 (慶應義塾医学振興基金)
- 2019年 高峰記念第一三共賞 (第一三共生命科学研究振興財団)
- 2019年 文化功労者
- 2022年 時実利彦記念賞 (日本神経科学学会)
- 2023年 ブレークスルー賞 生命科学部門
- 2023年 クラリベイト引用栄誉賞

牛久駅-東洋大学附属牛久中学校・高等学校間スクールバス運行表

※スクールバスは生徒優先となりますので予めご了承ください。

スクールバス乗り場 牛久駅東口を出て左折、赤色点線方向にお進みください。



1 日目：08月30日（金）

往路	JR牛久駅 着		スクールバス		プログラム	
	下り ※東京方面から	上り ※水戸方面から	牛久駅発	会場着	開始時間	内容
	10:49	10:42	11:00	11:15	11:30	受付開始
	11:03	11:07	11:20	11:35	11:50	総会
	11:27	11:25	11:40	11:55		
	11:47	11:47	12:00	12:15		
	12:08	12:09	12:20	12:35		
	12:27	12:25	12:40	12:55	13:00	研究授業
	13:27	13:25	13:30	13:45	14:00	研究協議
	14:08	14:09	14:30	14:45		
	14:27	14:25	14:45	15:00	15:10	開会行事
帰路			会場発	牛久駅着		
			17:30	17:45	17:15	基調講演終了

2 日目：08月31日（土）

往路	牛久駅		スクールバス		プログラム	
	下り ※東京方面から	上り ※水戸方面から	牛久駅発	会場着	開始時間	内容
	8:18	8:12	8:25	8:40		
	8:31	8:32	8:45	9:00	9:00	受付開始
	8:54	8:54	9:10	9:25	9:30	生徒発表
	9:16	9:12 9:23	9:30	9:45		
	9:45	9:43 9:57	10:00	10:15	10:25	分科会開始
帰路			会場発	牛久駅着		
			12:30	12:45	12:15	閉会行事終了